

<ニュースリリース>

平成 15 年 9 月 29 日

各 位

会 社 名 大 成 ラ ミ ッ ク 株 式 会 社
代 表 者 の 代 表 取 締 役 社 長 木 村 登
役 職 氏 名
(コ ー ド 番 号 : 4 9 9 4 東 証 第 一 部)
問 合 せ 先 専 務 取 締 役 木 村 義 成
管 理 本 部 長
電 話 番 号 0 4 8 0 - 9 7 - 0 2 2 4

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成 15 年 5 月 15 日の平成 15 年 3 月期本決算発表いたしました
今期（平成 15 年 4 月 1 日～平成 16 年 3 月 31 日）の中間期および通期業績予想を、下記のとおり
修正いたしますのでお知らせいたします。

記

1. 平成 16 年 3 月期中間業績予想数値の修正

（単位：百万円）

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想（A）	6,994	915	528
今回修正予想（B）	6,528	700	404
増減額（B - A）	466	214	124
増減率（%）	6.7%	23.5%	23.5%
前期(平成 15 年 3 月中間期)実績	6,724	1,024	572

2. 平成 16 年 3 月期通期業績予想数値の修正

（単位：百万円）

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想（A）	13,600	1,659	954
今回修正予想（B）	13,001	1,300	747
増減額（B - A）	598	359	207
増減率（%）	4.4%	21.6%	21.7%
前期(平成 15 年 3 月期)実績	12,626	1,600	904

3. 修正の理由

当社は本社新工場第一期増設ラインを軸にフィルムの外注部分の内製化を進め、より一層の品質向上・短納期・低コスト生産体制の強化を図りつつあります。包装フィルム部門は、当社主力得意先である食品業界の冷夏の影響による需要減少や前年の「アレルギー表示等」特需の反動により期初想定数値を下回り、包装機械部門では、食品業界での増産設備投資回復には至らず売上計画比未達成の見通しであります。包装フィルムの新規需要先開拓並びに包装機械の新製品発表と新規開拓など来期への拡販体制は整えつつありますが、今期中間期並びに通期の業績修正をいたします。

(注)本資料の業績予想は、当社の資料発表日時点で入手可能な情報に基づき作成したものであり、今後の様々な要因の変化により実際の業績は、これらの予想数値と異なる可能性があります。

以 上